

※ 今週のアウトルック(4/8~4/12)

先週も狭いレンジ内の動きが続きました。
金曜日に発表された米国雇用統計の良好な結果を受けて、
一次的には上昇しましたが、レンジ抜けという域には達しなかったようです。
今週はまず、良好な米国雇用統計の結果を受けて東京市場が、
どのような反応を見せるかが注目されます。
ただ、発表後のNY市場の動きを見る限り、過度な期待はできないように思います。

先週のドル円は、151円台の非常に狭いレンジでもみ合いを続けた後、
金曜日の米国雇用統計の良好な結果を受けて151.75まで上昇しました。
その後失速し、151.6付近でNY市場を終了しています。

今週は、東京市場での動きがまずは注目されますが、NY市場後半の動きから
頭打ち感が強くなっているように思います。
状況次第では大きく調整する可能性も考慮した方が良いでしょうに思います。

ドル円の予想レンジは149円から153円です。

ユーロは先週、良好な米国雇用統計の結果を受けて、164.4円付近まで上昇しました。
テクニカル的には165円を超えての上昇を示唆する指標も出て来ています。

今週は、165円台前半付近のレジスタンスを突破できるかどうかで、今後の展開が
大きく変わりそうです。
ただ、ユーロドルがテクニカル的に微妙な状況にあることが気にかかります。
ユーロドルが再び下落した場合、ユーロ円のレジスタンスブレイクは難しいように思います。

ユーロ円の予想レンジは160円から167円です。

ポンドも、ポンドドルが1.26付近で留まっているため、ポンド円も191円台を
維持しています。
ポンドドルが1.25割れを起こした場合には、ポンド円も
190円割れの可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは185円から195円です。

NYダウはなんとか先週末に盛り返したものの、テクニカル的には
このまま38,000ドル割れを目指す可能性が強まってきています。
NYダウが大きく調整した場合には、ドル円にも影響がありそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。